

私たち第43期生 領域別実習を終え、振り返り会をしました

2021/9/24

5月から始まった、老年看護学実習、成人看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習を終えて、忘れない看護実践の場面から、振り返り看護の意味づけを行いました。その結果、学生各々私の大切にしている看護を明確にすることができ、今後の課題も見出しました。

9名それぞれが、愛生園の入所者さんや実習施設の受け持ち患者さんなどから、多くの学びをさせて頂いていることを実感しました。それと同時に、関わらせていただいた方々に感謝しております。また、コロナ禍において実習を受け入れていただいた施設の方々、指導者の方々、教官の先生方に感謝しています。

さらに、クラス全員の看護観や意見を聞くことで、自分の看護が広がりました。看護は自分一人で行うものではなく、チームで行っていくことの重要性を実感しました。患者にとって最善の看護を選択し行っていくために、自分の意見だけを優先させるのではなく、周囲の考えや思い等に耳を傾け、コミュニケーションを始めとするチーム力を身に付けていきたいです。

11月には統合実習があります。今までの実習では、一人の方を理解し関わってきましたが、統合実習では複数の方々にかかわり、優先順位をつけて、根拠のある必要な看護ができるよう頑張っていきたいと思っています。「エイ、エイ、オー」の掛け声で、みんなで一致団結しました。

自分と向き合えて
良かった。

看護実践には一つひとつに意味があり、その意味は患者をより良い状態に導くためのものである。

患者やその家族
に寄り添う看護

患者の持てる力
を引き出す看護

その人らしさを大切に

尊厳を守り、生きる
ことを支える看護

いろんな看護実践・看護観が聴
けて、自分の看護が広がった。

1人ひとりに
寄り添う看護



